



2025年9月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー ニ ー
代 表 者 名 代表取締役社長 工藤 智昭
(コード番号：6562 東証グロース)
問 合 せ 先 上級執行役員(CFO)兼 菊川 淳
投資戦略部部長
(TEL. 03-5909-8177)

グループ会社JAPAN AI株式会社がマルチモーダルRAGを実装

株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下「当社」）のグループ会社であり、AIを活用したプロダクトの開発・販売を行うJAPAN AI株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下「JAPAN AI」）は、画像とテキストを統合的に理解するマルチモーダルRAGを実装したことをお知らせいたします。

詳細につきましては、別紙「ジーニーのグループ会社 JAPAN AI、マルチモーダル RAG 実装 ～図面検索から設計データ抽出まで、製造業の技術資料活用を効率化～」をご参照ください。本件による、当社連結業績への影響は、軽微であると見込んでおります。

以上

ジーニーのグループ会社 JAPAN AI、マルチモーダル RAG 実装

～図面検索から設計データ抽出まで、製造業の技術資料活用を効率化～

株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下ジーニー）のグループ会社である、AIを活用したプロダクト開発・販売を行う JAPAN AI 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下 JAPAN AI）は、画像とテキストを統合的に理解するマルチモーダル RAG を実装したことをお知らせします。

製造業の技術資料活用を効率化

マルチモーダルRAG実装で 図面検索から設計データを抽出



■本機能の実装背景

これまで JAPAN AI では、製造業を含む多くの企業の AI 導入と伴走支援を実施してまいりました。

その中でも多くの製造業を営む企業においては、技能継承と知見活用の課題に直面していることが明らかになっています。製造業では熟練技術者の持つノウハウや経験値が非常に大きな役割を果たします。

しかし、技術者の退職や異動で、設計図面、作業手順書、品質管理データ、過去のトラブル対応事例などの膨大な技術資料が社内には存在するものの、長年蓄積された技術的ノウハウや経験値が部門や個人へ分散して管理され、必要な時に適切な情報にアクセスすることが困難な状況となってしまうケースが多発しています。

(別紙)

JAPAN AI では、[業界最高水準の 82.7%の精度を誇る RAG](#) (※) でテキスト情報検索の支援を行ってきましたが、図面や写真、グラフなどの視覚的情報に含まれるデータについては、従来の RAG では取得できる情報が限られており、貴重な活用機会が失われていました。

このような背景から、画像とテキストを統合的に理解する「マルチモーダル RAG」の実装に至りました。

※：約 300 の質問に対する回答の正答率

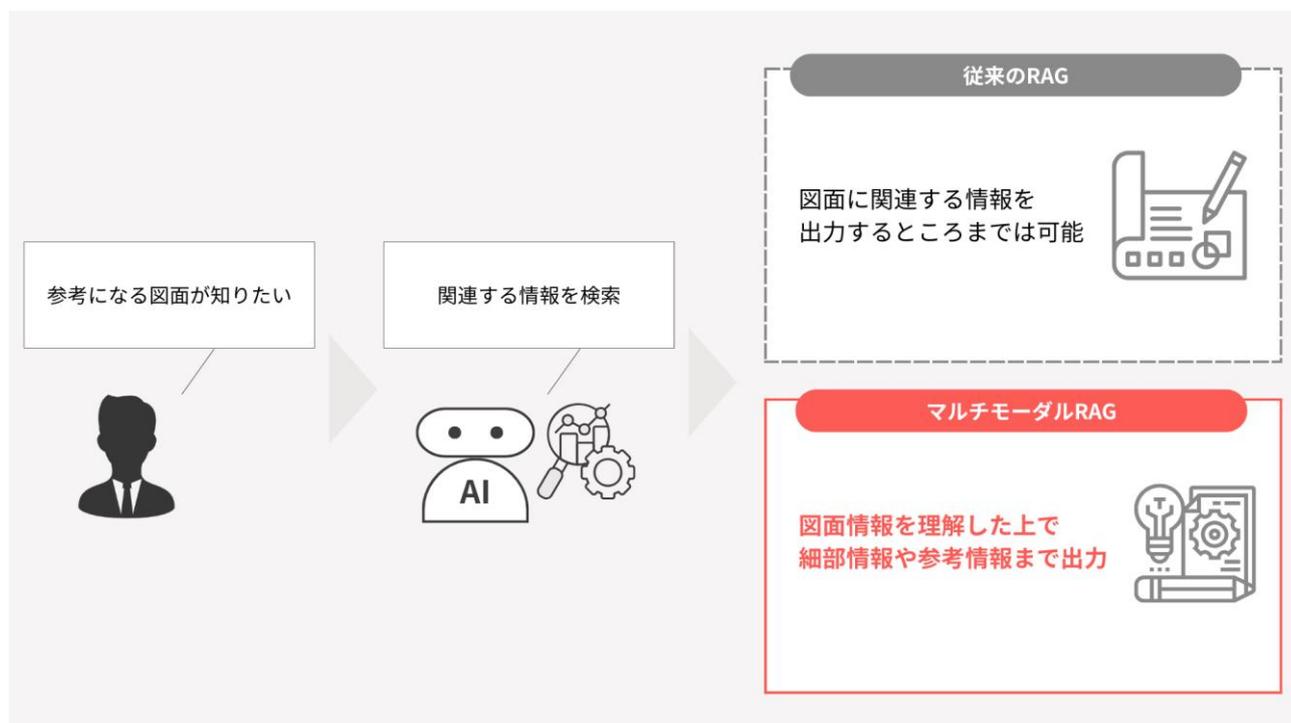
■マルチモーダル RAG とは

マルチモーダル RAG (Retrieval-Augmented Generation) は、画像・文書・音声など複数のデータ形式を検索して、その結果を元に生成 AI が回答を出力する仕組みです。

従来の RAG では、社内に点在していた図面などの技術文書を検索して見つけることはできましたが、その図面に記載された具体的な数値や仕様を抽出し、回答を生成することは困難でした。

今回マルチモーダル RAG が実装されたことで、PDF ファイル内のテキストと画像を自動判別し、両方の情報を統合的に理解して、回答を生成できるようになりました。従来のテキスト抽出や OCR による画像認識のみの処理から大幅に進化し、図面の詳細な寸法情報やグラフのデータなどの情報を理解して読み取ることが可能となります。

(※本実装は文書と画像の 2 つの形式に対応)



■具体的な使用例

PDF ファイルをアップロードすると、システムが高度な画像解析技術を用いてテキスト部分と画像部分を自動判別し、それぞれに最適化された処理を実行します。

〈使用例① 図面検索〉

図面検索機能では「船舶の設計図面で全長 50 メートル級の事例を探して詳細な仕様を教えてください」といった具体的な条件での検索が可能になり、該当する図面を特定するとともに「全長 52 メートル、全幅 8 メートル、喫水 3 メートル、総トン数 450 トン、エンジン出力 1200 馬力」といった詳細な寸法情報や仕様データが自動的に抽出されて出力されます。設計者は過去の類似事例を効率的に参照でき、新規設計の参考資料として活用できるようになります。

〈使用例② グラフ理解〉

「四半期売上推移のグラフから 2023 年第 3 四半期の数値を教えてください」という質問に対し、グラフの画像を詳細に解析して軸の値や線の位置を読み取り、「2023 年第 3 四半期の売上は前年同期比 15%増の 1,200 万円で、前四半期比では 8%の増加を記録しており、年間目標達成に向けて順調な推移」といった具体的な数値データと傾向分析を含めた包括的な回答を提供します。

■JAPAN AI の今後の展望

過去の設計事例に基づいた最適な業務改善提案機能や、過去の設計図面と見積を参照して、類似製品製造時の見積を作成できるような AI エージェントの開発も予定しております。今後も、より複雑な図面や多様なグラフ形式への対応範囲を拡大できるよう RAG 技術の向上に努めてまいります。単なる情報検索を超えた知識活用支援システムとして、製造業をはじめとする各業界の業務効率化と技術革新に貢献してまいります。

■JAPAN AI のサービス概要

JAPAN AI AGENT

設定した目標やゴールに対し、AI が自ら思考し、特定のタスクを実行する AI システム。日常的に発生する様々なタスクを自動化することができます。

サービスサイト：<https://japan-ai.co.jp/agent/>

JAPAN AI MARKETING

広告運用業務を包括的に支援する AI エージェントです。BigQuery 連携による自動データ取得から、分析、レポートニングまでを一気通貫で実行します。広告代理店やマーケティング担当者の業務効率を大幅に向上させ、戦略的な意思決定に注力できる環境を提供します。

サービスサイト：<https://japan-ai.co.jp/marketing/>

JAPAN AI SALES

営業部門における日々の活動記録を AI が自動的に顧客管理システムへ入力する AI エージェントです。商談やメールのやり取りを AI が分析し、必要な情報を適切な形式で顧客管理システムに反映します。

サービスサイト：<https://japan-ai.co.jp/sales/>

JAPAN AI CHAT

最新の言語モデルを使用した法人向け生成 AI 活用プラットフォームです。通常の ChatGPT としての利用はもちろん、データ連携と独自開発による高精度の RAG により、社内データの検索や、社内データを元にした回答生成も可能です。多数のプロンプトテンプレートや、カスタマーサクセスによるサポートも用意しています。

サービスサイト：<https://japan-ai.co.jp/chat/>

JAPAN AI SPEECH

議事録を自動で生成する AI サービスです。業界用語への対応や話者分離など、議事録として必要な機能はもちろん、文字起こしした文章を AI により様々な形に要約・編集できる機能を備えています。

サービスサイト：<https://japan-ai.co.jp/speech/>

JAPAN AI CONSULTING

業界最高水準の AI 開発技術と AI プラットフォームを起点に、企業の課題発掘から AI 利活用の起案、実用化、社内浸透までを伴走支援。企業の AX (AI トランスフォーメーション) の実現を目指します。

サービスサイト：<https://japan-ai.co.jp/consulting/>

■会社概要

社名：JAPAN AI 株式会社

代表者：代表取締役社長 工藤 智昭

本社：東京都新宿区西新宿 6-8-1 住友不動産新宿オークタワー5/6階

設立：2023年4月14日

事業内容：人工知能の研究開発、人工知能に関するコンサルティングサービス

URL：<https://japan-ai.co.jp/>

■ジーニーについて

ジーニーは、「誰もがマーケティングで成功できる世界を創る」、「日本発の世界的なテクノロジー企業となり、日本とアジアに貢献する」という2つの Purpose (企業の存在意義)のもと、企業の収益拡大・生産性向上など様々な課題解決につながるソリューションを開発・提供するマーケティングテクノロジーカンパニーです。

■会社概要

社名：株式会社ジーニー

代表者：代表取締役社長 工藤 智昭

本社：東京都新宿区西新宿 6-8-1 住友不動産新宿オークタワー5/6階

設立：2010年4月

資本金：100百万円（連結、2025年3月末現在）

従業員数：877名（連結、2025年3月末現在）

海外拠点：米国、インド、シンガポール、ベトナム、インドネシア、UAE

事業内容：広告プラットフォーム事業、マーケティング SaaS 事業、デジタル PR 事業

URL：<https://geniee.co.jp/>

＜本件に関する報道関係のお問い合わせ先＞

株式会社ジーニー 広報担当